



ちえのわ



新型コロナウイルス給付金を装った詐欺に注意

新型コロナウイルス感染症に関する特別定額**給付金**に関連した相談が寄せられています。手続きに関して、行政・公的機関、金融機関の職員が訪問し、通帳やキャッシュカードを預かったり、電話やメール・SNSで個人情報や暗証番号を聞き出したりすることは絶対ありません。行政から委託されたという業者などからの電話や訪問、メール・SMSなどには反応せず、**個人情報**は教えないようにしましょう。

国民生活センターでは給付金に関する消費者トラブルについての相談を受け付けています。

新型コロナウイルス給付金消費者ホットライン

0120-213-188 (通話料無料) 10:00~16:00 (土・日・祝日を含む)

清瀬市消費生活センター 相談専用電話 042-495-6212 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

10:00~16:00 (12:00~13:00を除く)

65歳以上でまだ自動通話録音機をご利用されていない方へ

自動通話録音機を付けて、詐欺を防止しましょう！
申請も、取り付けも簡単です。

まだ取り付けていない方はぜひ！

自動通話録音機とは？

電話がかかってくると、呼び出し音になる前に、「この電話は振り込み詐欺等犯罪防止のため、会話内容が自動録音されます」の警告メッセージが流れ、通話内容を録音する機械です。

だまそうとする人は、録音されることを嫌いますので、この警告メッセージを聞いたら、電話を切ってしまいます。

申請は下記へ、まず電話でお問い合わせください。

市役所防災防犯課(市役所2階) 042-497-1848

清瀬市消費生活センター 042-495-6211

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、清瀬市では9月までの事業は中止を予定しています。毎年6月に開催されている「エコまつり」も今年は中止となりました。

消費生活講座、出前講座等が実施可能となりましたら、ホームページ、ちらし、消費生活センターだよりなどで、お知らせいたします。

消費生活相談の現場から

新型コロナウイルス感染拡大防止に便乗した

悪質サイト、悪質業者があなたを狙っています！

ポチッと
する前に

トラブルに巻き込まれないようもう一度確認してください！

(事例)

たまたま見つけたインターネットサイトで欲しかった洋服が安く販売されていたので注文した。サイトにはクレジットカードが使えると表示されていたが、支払い方法を選択する段階になると口座振込しか選択肢が無かった。注文後に受注メールが届き料金を入金したが、10日経っても商品が届かない。サイトにメールで問い合わせをしたが返事は無い。不審に思いサイトの電話番号を検索したところ詐欺サイトであるという書き込みを発見した。

(アドバイス)

新型コロナウイルス感染予防のため、外出を控えていることにより、インターネット通販の利用が増えています。今まで利用しなかった人も利用するようになり、インターネット通販に不慣れな人を悪質サイトが狙っています。事例のような「料金を前払いしたのに商品が届かない」や、「事業者と連絡が取れない」という相談が目立っています。

そこで詐欺サイトを見分けるチェックポイントをお伝えします。申し込む前にチェックしましょう。以下に当てはまる場合は要注意です。

- ① クレジットカードが使えず支払い方法が口座振込のみである
- ② 振込口座の名義が事業者名ではなく個人名になっている（外国人名が多い）
- ③ アマゾン・楽天市場などの大手インターネット通販サイトを利用していない
- ④ 一般に流通している価格よりも大幅に安く販売されている
- ⑤ 電話番号の記載が無く連絡先がEメールアドレスしか無い
- ⑥ 住所の記載がない、または番地の記載がない
- ⑦ サイト内の文章に機械翻訳したような不自然な日本語表現がある

清瀬市消費生活センター

〒204-0021 東京都清瀬市元町1-4-17

【電話】 042(495)6211

【FAX】 042(495)6221

【開館時間】 午前9時～午後10時（月～土曜日）

消費生活相談

【相談専用電話】 042(495)6212

【相談時間】 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）



使用済み小型家電回収ボックスがあります。対象は20品目です。

※目の不自由な方のために「ちえのわ」の音訳CDを製作しています。ご希望の方はご連絡ください。

【編集・発行】 清瀬市消費生活センター 清瀬市消費生活センター運営委員会

【問い合わせ】 清瀬市消費生活センター（電話）042(495)6211

「プラスチックの環境汚染」について考える



日本は海に囲まれています。清瀬市には海がありません。しかし、私たちの生活から出ている身近なごみが海を埋めつくそうとしていることを知っていますか？

生活のあらゆる場面で利用されているプラスチック。軽くて丈夫で加工しやすく、安価で手に入り、私たちの暮らしを支える必需品となっています。例えば身近なところでは、食品の容器包装。

昔は豆腐やしょうゆなども、鍋やびんを持って買いに行ったりしていましたが、現在では野菜や果物もほとんどが包装されて流通しています。その容器としてよく使われているのがプラスチックです。

レジ袋やペットボトルの飲料や調味料などのプラスチック製品やナイロン、ポリエステルなどの合成繊維、タオルやスポーツウエア、下着など、洗顔料、口紅、アイライナーなどの化粧品の多くにマイクロプラスチックが含まれています。

陸域から発生したプラスチックを含むごみは、世界中から海へ流れ込んでいます。その中でもプラスチックごみは自然に分解されず、その多くが数百年以上残り続け、地球規模での課題となっています。

マイクロプラスチックとは？

ポイ捨てや風でプラスチックごみが散乱し、雨や風でゴミが川や砂浜へ流されて海へ行く途中で、太陽光・紫外線・風化などによってもろくなり、壊れてどんどん小さくなった5mm以下のプラスチックの粒を総称としてマイクロプラスチックといいます。



川から海へ

海がない清瀬市には、海のプラスチック問題は関係ないでしょうか。

実は、プラスチックを含むごみの多くは、川を通じて最終的に海を汚しています。市内を流れている柳瀬川や水路からもプラスチックゴミが流れ込んでいるのです。

海の生物への影響

プラスチックを含むごみの多くは、海岸での波や紫外線等の影響を受け、細かな破片になり、やがて小さなプラスチックの粒子となります。それが世界中の海中や海底に存在しています。

5mm以下になったプラスチックは**マイクロプラスチック**と呼ばれており、日本の沿岸や近海各地で採集されたマイクロプラスチックには有害物質が含まれている場合もあります。そのため、魚などが食べてしまい、海洋生物に様々な影響を与えています。

くじらやアザラシなどの海洋哺乳類や海鳥、ウミガメ、魚などの生物が傷つけられたり、死んでしまったりしています。例えば漁網などに絡まったり、ポリ袋を餌と間違えて摂取したりすることによるものです。一度放出されたプラスチックは容易に自然分解されず、多くが数百年間以上もの間残り続けます。

人体への影響

このマイクロプラスチックは、食を通じて人体にも取り込まれている可能性があります。体内のマイクロプラスチックが人体に直接悪影響を及ぼすかどうかはまだ明らかではありません。しかし、自然には存在しない物質が自分でも気がつかないうちに身体に取り込まれているかもしれないということは決して楽観視できないのではないのでしょうか。

プラスチックごみリサイクルの現状

日本でプラスチックの有効利用率は、世界でも高い水準です。しかし、全体の半分以上は、「サーマルリサイクル」という処理方法に頼っています。これは、プラスチックごみを燃やした熱エネルギーを発電や温水プールなどに利用する方法です。ただし、「サーマルリサイクル」というこの処理はCO2を排出するため、今後さらに深刻化する地球温暖化への対策を含めて考えると、有効かつ持続可能な方法で資源が利用されているとはいえません。そのため、消費者が軽くて丈夫で加工しやすく、安価なプラスチックの利用を減らしていくことが大切です。

また、容器包装プラスチックは再利用することが可能な資源となります。例えば、ペットボトルはキャップやラベルを外し、綺麗にすすいで、潰してから排出するようにしましょう。これは汚れていたり、他の不純物が混ざることによって再利用に伴う一定基準を満たさなくなったりしてしまい、ごみとして処理されてしまうからです。

マイボトルを使いましょう！



マイボトルを使うだけでたくさんのごみが減らせます。繰り返し使える物を購入、利用することを普段から意識しましょう。

マイバッグを使いましょう！

レジ袋のほとんどが使い捨てられています。マイバッグを持参して使い捨てを減らしましょう！



リサイクルしましょう！

分ければ資源、混ぜればごみになります。リサイクルすれば資源を無駄遣いせず新しいプラスチック製品を作ることができます。



ごみは正しく捨てる！
ごみのポイ捨てはしない！



私たちができること

SDGsって何だろう？

世界が直面する様々な問題に対し、世界が一丸となって取り組むための目標が「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」です。2015年に日本を含む193かの国連加盟国の合意のもと採択されました。SDGsには世界の国々が取り組むべき17の目標と、169のより具体的な目標（ターゲット）が示されています。今ある世界の問題を知り、自分にできることを考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目標 14 海の豊かさを守ろう

14 海の豊かさを守ろう

